

# ほたるサミットあぐい'10

パートナーシップ事業



サミットは、今年十月に愛知・名古屋で開かれる、生物多様性条約第十回締約国会議支援実行委員会から認定を受けた「COP10パートナーシップ事業」です。ホタル保護は、COP10の理念につながります。阿久比町で開催されるサミットから、多様な生物の保全推進を「全世界」に発信していきます。

ほたるサミット参加6市町  
和歌山県「紀の川市」  
岡山県「真庭市」  
福岡県「北九州市」  
山口県「下関市」  
滋賀県「米原市」  
愛知県「阿久比町」

「ほたるサミットあぐい'10」にはホタルの保護活動に取り組み全国六市町が参加します。市町の取り組みの発表や、意見交換の場として、平成元年から参加市町の持ち回りで開催され、今回で二十二回目となります。

## 阿久比町での 取り組み



幼虫を校内の養殖場の水路に放流する東部小児童

「ホタル飛びかつ住みよい環境づくり」を目指し、町内に生息しているヘイケボタルの発生状況調査や生態などの調査研究を行っています。調査研究施設として、「ふれあいの森」にホタル養殖場を設置し、ホタル専門員による人工飼育や、エサとなる巻貝類の養殖も行っています。小中学校では、ホタルを通じた環境教育に取り組み、中でも東部小学校では、ヘイケボタルの人工飼育を行い、子どもたちが毎日の飼育を通して環境保護の大切さを勉強しています。

# 7月1日『あぐいほたるの日』

町民こぞってホタルを見る期間 6月20日～7月10日

# 『ホタルと一緒に自然を守らナイト』

平成6年7月1日に開催した「ほたるサミットあぐい94」を記念し、7月1日を「あぐいほたるの日」としています。

また、町制施行55周年記念事業に開催（平成20年12月）した「子ども議会」で、「みんなでホタルを見る日を決めてはどうか」との提案を受け、6月20日～7月10日を、町民こぞってホタルを見に出掛ける期間、「ホタルと一緒に自然を守らナイト」としています。

ホタルの淡い光は環境のパロメーターです。「ホタルと一緒に自然を守らナイト」の期間中には、家族や友人と水田や川のほたりなどにホタルを見に出掛け、命や自然の大切さを考える機会にしてください。

### お願い



マスケットキャラクター  
「アグビー」

ホタルは5月下旬に水から上陸し、土の中でサナギになります。サナギになったホタルは、6月中旬～7月上旬に羽化します。そのころのホタルは、草の中で休憩や、求愛活動を行います。土手などの草刈りを行われると思いますが、その時期にはできる限り、刈った草を燃やさないよう協力をお願いします。